第７回「医療・介護連携　顔の見える関係づくり交流会」を開催しました！

コーディネーター
河西　京子氏

第７回「医療・介護連携　顔の見える関係づくり交流会」を、平成 30 年 1 月 17 日(水)に甲府市総合市民会館　大会議室にて開催しました。

甲府市南東地域包括支援センターの支援エリアに所在する医療機関、介護保険サービス提供事業所等を中心に、90 名の方にご参加いただきました。

今回は、交流会のコーディネートを甲府市南東地域包括支援センターの河西京子氏、事例提供を甲府市南東地域包括支援センターの塩入龍一氏に務めていただき、交流会を進めました。

事例提供者
塩入　龍一　氏

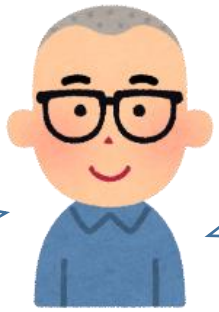
座談会では、「在宅生活における多職種での支援」をテーマとした事例について、グループ内で話し合いました。各々の職種でどのような支援ができるのか、それぞれの職種の意見を聞き、多職種の連携を深めるために、皆さん活発な意見交換をされました。

座談会終了後、各グループで行われた意見交換の内容について発表していただきました。

発表者からは、「介護職として、今まで医療との連携については少し苦手意識があったが、共通の事例を様々な職種と検討したことで、気持ちが楽になった。」という意見や「せっかく顔の見える関係づくりが築けたので、今後、在宅支援を行っていく上でも今まで以上に多くの職種を巻き込み、協力し合える体制づくりを意識していきたい。」など、交流会を通じて今後の在宅支援を考えるきっかけになったようです。

最後にコーディネーターより、「日々の業務で困った時には、今日の交流会を思い出して、チームで支援をするという視点を忘れず、多くの方の在宅生活を支えていきたい。」と締めくくっていただきました。

交流会の様子を
掲載します！



皆さん、とても素敵な表情で、和気
藹々とした座談会でした！